



10月31日 第六教区団体参拝旅行 永平寺にて

雲林寺報

第16号
2014年新春号
吾妻郡長野原町73
大洞山 雲林寺
TEL0279-82-2201

年回正當のお知らせ

年回法要は、一般に法事と呼ばれているもので、亡くなった翌年が一周忌、その翌年が三回忌です。三回忌からは亡くなった年も含めて数え、追善供養の法要を営みます。略式ですがご連絡させて頂きます。☆御名前は施主名になります。例⑦：七回忌

- (長野原地区) 長谷川誠様① 野口敏幸様②⑦ 宮崎透様②⑤ 秋元充様②⑤ 浅沼克行様②⑤ 浅沼清一様⑦ 阿藤啓二様①②③ 飯塚も七子様①⑦ 市川三男様①③ 犬塚守人様⑦ 岩木夏雄様②⑤ 加部美次様②③⑤ 黒岩保男様⑦ 小池孝夫様①⑦⑩ 小池正太郎様②⑤ 越水直躬様⑦ 小佐藤甲子様①⑦⑩ 小池秀喜様②⑤ 酒井正躬様⑦ 佐藤瑞陽様①⑦⑩ 篠原孝三様③⑤ 佐藤強様②③ 篠原正雄様①⑦⑩ 嶋村均様②⑦ 清水高治様③ 芝田正雄様②③⑤ 嶋村均様②⑦ 武男様②⑦ 清水勇次郎様③⑤ 霜田春男様① 高山初夫様③⑤ 武田俊一様②⑦⑩ 竹淵由紀子様① 野口和宏様①⑦ 土田稲米様②⑤ 長澤優様⑦ 野口政雄様①⑦⑩ 野口光様②⑤ 橋詰澄夫様②⑤ 野口和宏様①⑦ 野口光様②⑤ 橋詰澄夫様②⑤ 野口和宏様①⑦ 野口光様②⑤ 橋詰澄夫様②⑤
- (大津地区) 櫻井輝久様③⑦ 浅川文雄様②⑦ 浅見金一郎様②⑤ 浅見章様①⑦ 浅見勇様①⑦⑩ 浅見良雄様⑦ 一場榮様②③ 市村明様⑦ 市村広様③ 市村由紀夫様③③ 梅内健一様⑦ 唐澤邦武様②⑤ 黒岩今朝二様③③ 黒岩今朝松様②⑤ 黒岩健一郎様②③ 黒岩治男様① 黒岩治郎様②⑦ 黒岩すみ子様②③ 黒岩唯夫様②⑤ 小林喜一郎様⑦ 小林清様②③ 黒岩勝彦様① 小林充様①③ 篠原百合子様②③ 島村照男様②③ 嶋村直樹様②⑤ 嶋村百合子様②③ 島村満様①⑦ 島村義雄様②⑤ 富沢春生様① 嶋村満様①⑦ 島村義雄様②⑤ 富沢光一郎様① 富沢哲夫様① 長岡豊様②⑤ 野口美様①⑦ 野口善行様②⑦ 山口浩様⑦ 湯本直幸様②⑦ 湯本茂様①⑦ 湯本誠様① 湯本功様①
- (北軽井沢地区) 永井芳司様③③ 青木菊正様③ 青木博文様⑦ 青木裕治様⑦⑩ 新井浩司様②③ 石井二郎様②⑤ 石井敏一様②⑤ 石田俊雄様①③ 石田実様⑦ 井上けさ子様①③ 大森一年様②⑤ 恩田明様⑦ 神倉稔様③ 上谷川憲一様③ 桐淵始春様①⑦ 桐淵正芳様③ 小島三ツ工様③⑤ 清水素彦様⑦⑩ 重原欽三様①⑦ 水忠雄様③③ 清水素彦様⑦⑩ 重原欽三様①⑦ 中村嘉江様③③ 成田豊様⑦⑩ 西山義夫様②⑤ 萩原正頭様⑦⑩ 半沢友栄様⑦⑩ 藤田桂一様③ 星野和増田哲夫様⑦ 宮澤昭次様③ 吉田茂様① 吉田久義様⑦⑩ 伊藤千枝様①⑦ 霜田初子様⑦⑩ 松山紘子様⑦⑩
- (与喜屋地区) 落合淳佐様③③ 加迎正司様③③ 小林喜久男様⑦ 野口友江様③③ 篠原憲太郎様②⑤⑦⑩ 篠原研様③③⑤ 野口友江様③③ 湯本努様①⑦
- (羽根尾地区) 井上眞様③ 唐沢子三郎様③③③ 唐沢登喜夫様②⑤ 唐沢富雄様③ 唐沢美恵子様①⑦ 河村卓也① 黒岩昭様① 黒岩進様①⑦ 黒岩大様③⑦ 黒岩忠吾様① 櫻井一雄様⑦ 櫻井秀樹様① 橋爪満男様②③ 山口通夫様①⑦ 豊田二郎様②⑦
- (川原湯・川原畑地区) 野口美恵子様③⑤
- (吾妻郡内) ※順不同 市村良平様③③ 大竹博幸様①⑦ 大塚延子様③ 笠原ほみ様③ 小林陽様②⑤ 篠原今朝六様③③ 篠原弘平様① 竹田博栄様②⑦ 野口千鶴子様⑦ 野口英雄様③ 山口英子様①⑦ 中沢初江様③ 寺島正明様③ 吉田悠一様②③ 関沢秋雄様①⑦ 滝澤和好様① 干川政彦様③ 井口廣様②⑤ 佐藤幸子様①⑦ 竹内文雄様① 山本忠弘様①
- (横壁地区) 金子幸弥様③ 豊田美明様③
- (林地区) 市村春二様③③ 小林伊久男様②⑦ 小林茂一様②⑤ 小林福二様③ 篠原昭一様⑦ 篠原憲一様③ 篠原眞一様③③ 篠原次夫様③③ 篠原延行様②③ 篠原忠太郎様① 篠原政信様③⑦ 高原伸弘様①③③ 中里守様③③ 長橋勝美様②③ 星河すみ江様②③
- (県外) ※順不同 市村芳子様⑦ 黒岩利男様①⑦⑩ 篠原孝様⑦⑩ 村三ヨ様①⑦ 野口宏様①⑦ 小瀬良枝様②⑦ 金丸明子様①⑦ 小林茂様①⑦ 櫻井和彦様③ 篠原秀太郎様① 高橋容子様①⑦ 野口剛志様① 藤野戸泰文様②③ 唐沢祥夫様③③ 嶋村清様⑦⑩ 清村正子様②⑤ 原章様②③ 浅沼久哉様①⑦⑩ 中田みつ子様②③ 野口勝彦様⑦⑩ 三塚通之様③ 芝田守男様③ 市川憲三様①⑦ 篠原勤様③⑤

新年のご挨拶

謹んでご新春のお慶びを申し上げますとともに、皆様のご繁栄とご多幸、平穩無事とを心よりご祈念申し上げます。

物事を見るには変わらぬものと、変わるものとの二つの視点が必要だと思えます。「理事」とか「理事者」などという言葉はごく身近によく使われる言葉ですが、「理事」はもともと仏教用語で、「理」とは根本の道理、「事」とは現象のことです。したがって「理事」とは現象のことであります。したがって学園なり組合なりの運営の大綱を把握するとともに現実の具体的な問題の処理にあたる人のことです。草木に例えれば「理」とは土中の根であり、「事」とは地上にあらわれた幹であり枝葉であります。切花はどんなに美しくても根がないのでその命は短くあつという間に枯れてしまいます。同じようにいかに現実の具体的な問題の処理に長じていても、大局を把握しなかつたらやがては行き詰ってしまふのであります。にもかかわらず「事」は「理」にくらべると身近であり、それだけに取り組みやすく、そしてまた現実の生活と結びついておりますので人はともすると「理」を忘れて「事」のみに走りかねないのであります。一休さんはしゃれこうべをかつき、「門松や冥土の旅の一里塚めでたくもあり、めでたくもなし」といって、ただわけもなく正月気分にかかっている人々の心に冷水をあびせかけたのであります。そこで正月を意義あらしめるには、松に古の色がないという理の面と、竹に上下の節があるという事の面と、両面に心をくばらなくてはならないものだと思います。今年もよろしくお願ひ申し上げます。

雲林寺住職 轟 紀久

平成二十六年年度年回早見表

年回	死亡年	市村芳子様⑦	黒岩利男様①⑦⑩	篠原孝様⑦⑩	田村三ヨ様①⑦	野口宏様①⑦	小瀬良枝様②⑦	金丸明子様①⑦	小林茂様①⑦	櫻井和彦様③	篠原秀太郎様①	高橋容子様①⑦	野口剛志様①	藤野戸泰文様②③	唐沢祥夫様③③	嶋村清様⑦⑩	清村正子様②⑤	原章様②③	浅沼久哉様①⑦⑩	中田みつ子様②③	野口勝彦様⑦⑩	三塚通之様③	芝田守男様③	市川憲三様①⑦	篠原勤様③⑤	
一周忌	平成二十五年																									
三回忌	平成二十四年																									
七回忌	平成二十三年																									
十三回忌	平成二十二年																									
十七回忌	平成二十一年																									
二十三回忌	平成二十年																									
二十七回忌	平成十九年																									
三十三回忌	平成十八年																									
三十七回忌	平成十七年																									
三十三回忌	昭和五十七年																									
三十三回忌	昭和五十七年																									

編集後記

皆様それぞれに新年を迎えていることと存じます。仏さまの教えの中に「安心」(あんじん)という言葉があります。これは、ほっと安心(ひとあんしん)という意味ではなく、仏さまの教えを深く信じ、実践してその結果として心の安らぎを得ている状態を表す言葉です。

言い換えれば、心が乱れないことであり、物事にこだわって悩んだりしないことです。

そのような「安心」の心を持って生きられれば時間の長さなどが問題でなくなり、人生は長きでなく質です。一年の初めにあたつて「安心」の心をもって生きることを仏さまに、そしてご先祖様に誓うことが、初詣の際の心得です。どうか実践していただければ幸いです。

副住職 轟 省吾

平成二十六年 雲林寺年間予定

- 一月二日 大般若祈祷会
 - 一月四日〜七日 年頭のご挨拶廻り
 - 一月十八日 初観音 梅花流新年会
 - 二月三日 節分会 午後七時より 稲尊涅槃会
 - 二月十五日 春彼岸
 - 二月十八日 稲尊涅槃会(花祭り)
 - 二月十九日 梅花流一泊研修
 - 二月下旬 教区護持会新年会
 - 二月初旬 梅花流上級者検定
 - 三月十八日 梅花流宗務所検定
 - 四月三日 春彼岸
 - 四月八日 稲尊涅槃会(花祭り)
 - 五月二十八日 梅花流全国大会
 - 六月十九日 群馬県檀信徒大会
 - 八月十四日 大施食会 午前十一時より
 - 九月二十日 秋彼岸
 - 十月十三日(体育の日) 第六回雲林寺親睦ゴルフコンペ
 - 十二月八日 稲尊成道会
 - 十二月三十一日 除夜の鐘
- ※四月三日の大般若会は今年よりのな様でも参加できます。平服で結構です。

